

運用報告書（全体版）

日本金融ハイブリッド 証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジなしコース 〈愛称〉ジェイブリッド

第119期（決算日	2023年7月14日）
第120期（決算日	2023年8月14日）
第121期（決算日	2023年9月14日）
第122期（決算日	2023年10月16日）
第123期（決算日	2023年11月14日）
第124期（決算日	2023年12月14日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2013年8月29日から2028年6月14日	
運用方針	<p>①日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。</p> <p>②外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p>③原則、毎月14日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に収益の分配を行います。</p>	
主要投資対象	日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)円ヘッジなしコース	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド受益証券
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	日本の金融機関グループが発行した外貨建て(米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等)のハイブリッド証券
主な組入制限	日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)円ヘッジなしコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型）円ヘッジなしコース」は、このたび第124期の決算を行いましたので、第119期～第124期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	純資産額	
		税分	込配	期騰落			
	円	円	円	中率	%	百万円	
95期(2021年7月14日)	10,854		40		1.6	97.4	540
96期(2021年8月16日)	10,753		40		△0.6	96.6	532
97期(2021年9月14日)	10,810		40		0.9	96.9	518
98期(2021年10月14日)	10,931		40		1.5	97.5	536
99期(2021年11月15日)	10,984		40		0.9	97.2	516
100期(2021年12月14日)	10,903		40		△0.4	96.9	481
101期(2022年1月14日)	10,845		40		△0.2	96.3	522
102期(2022年2月14日)	10,541		40		△2.4	97.7	498
103期(2022年3月14日)	10,503		40		0.0	98.0	496
104期(2022年4月14日)	10,891		40		4.1	97.8	514
105期(2022年5月16日)	10,748		40		△0.9	98.5	502
106期(2022年6月14日)	11,045		40		3.1	96.8	507
107期(2022年7月14日)	11,232		40		2.1	97.4	521
108期(2022年8月15日)	10,949		40		△2.2	95.8	512
109期(2022年9月14日)	11,699		40		7.2	96.9	542
110期(2022年10月14日)	11,200		40		△3.9	96.6	546
111期(2022年11月14日)	10,526		40		△5.7	94.8	515
112期(2022年12月14日)	10,737		40		2.4	95.5	523
113期(2023年1月16日)	10,177		40		△4.8	93.2	496
114期(2023年2月14日)	10,671		40		5.2	97.2	523
115期(2023年3月14日)	10,513		40		△1.1	94.4	513
116期(2023年4月14日)	10,553		40		0.8	93.9	611
117期(2023年5月15日)	10,928		40		3.9	94.9	769
118期(2023年6月14日)	11,118		40		2.1	94.2	1,068
119期(2023年7月14日)	10,915		40		△1.5	90.1	1,664
120期(2023年8月14日)	11,331		40		4.2	95.5	2,398
121期(2023年9月14日)	11,369		40		0.7	96.0	3,435
122期(2023年10月16日)	11,298		40		△0.3	95.7	3,613
123期(2023年11月14日)	11,425		40		1.5	97.1	3,625
124期(2023年12月14日)	11,160		40		△2.0	96.6	3,545

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第119期	(期 首)	円		%	%
	2023年6月14日	11,118		—	94.2
	6月末	11,467		3.1	94.0
第120期	(期 末)				
	2023年7月14日	10,955		△1.5	90.1
	(期 首)				
第120期	2023年7月14日	10,915		—	90.1
	7月末	11,120		1.9	94.6
	(期 末)				
第121期	2023年8月14日	11,371		4.2	95.5
	(期 首)				
	2023年8月14日	11,331		—	95.5
第121期	8月末	11,387		0.5	92.6
	(期 末)				
	2023年9月14日	11,409		0.7	96.0
第122期	(期 首)				
	2023年9月14日	11,369		—	96.0
	9月末	11,406		0.3	95.5
第122期	(期 末)				
	2023年10月16日	11,338		△0.3	95.7
	(期 首)				
第123期	2023年10月16日	11,298		—	95.7
	10月末	11,192		△0.9	95.9
	(期 末)				
第123期	2023年11月14日	11,465		1.5	97.1
	(期 首)				
	2023年11月14日	11,425		—	97.1
第124期	11月末	11,419		△0.1	96.8
	(期 末)				
	2023年12月14日	11,200		△2.0	96.6

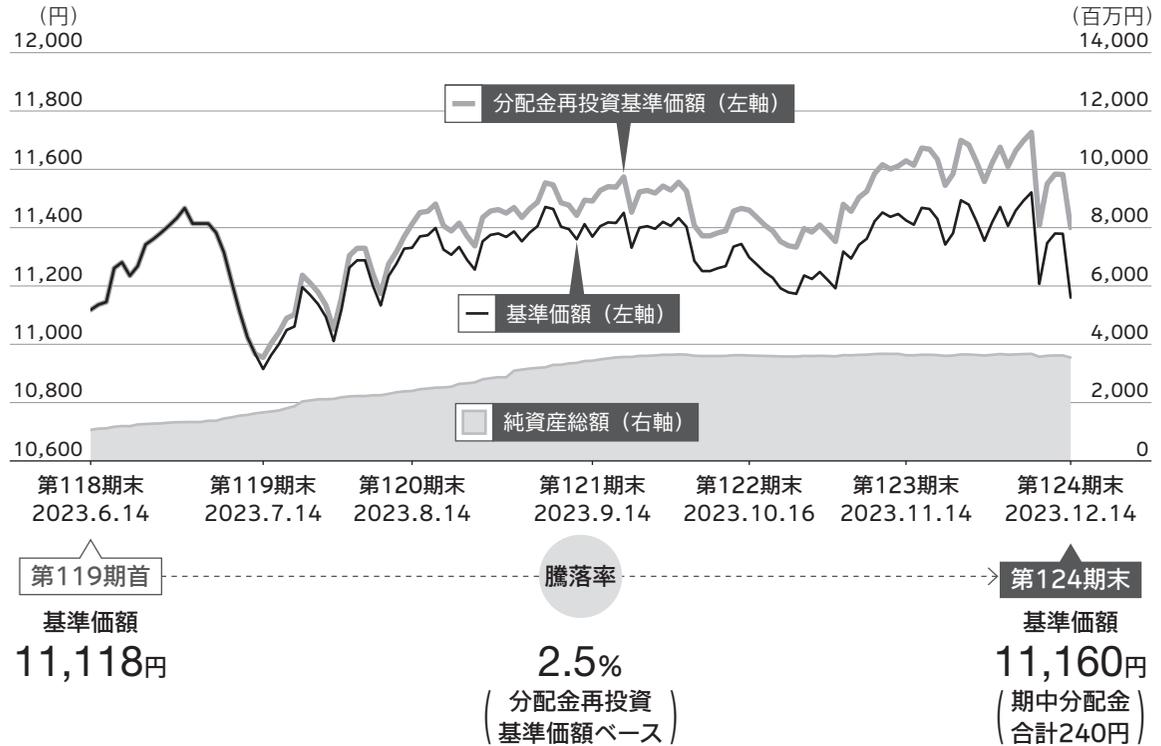
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジなしコース

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は+3.1%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、基準となる米国国債利回りが上昇（価格は下落）した上、対国債スプレッドが拡大したことから、利回りは上昇しましたが、インカム収入がこれを上回り所有期間利回りはプラスとなりました。為替が米ドル高円安となったことも加わり、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

FRB（米連邦準備理事会）の金融引き締め姿勢を背景に、2023年10月にかけて利回りは上昇基調で推移しました。その後、11月のFOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて利上げ打ち止め観測が強まり、利回りは低下（価格は上昇）に転じましたが、前期末比で見ると、米国債券利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは低下しました。

ECB（欧州中央銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2023年10月にかけてドイツ債券利回りは上昇基調で推移しました。その後、期末にかけては、米国金利の低下や、ECBによる利上げ打ち止め観測などを背景に、利回りは低下した結果、前期末比で見ると、ドイツ債券利回りは低下しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは低下しました。

BOE（イングランド銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2023年10月にかけて英国債券利回りは上昇基調で推移しました。その後、期末にかけては、米欧金利の低下や、英国景気に対する先行き懸念などから、英国債券利回りも低下した結果、前期末比で見ると、英国債券利回りは低下しました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは、米国の金融引き締め姿勢などを背景に、2023年10月にかけて拡大しました。その後は、米国の利上げ打ち止め観測が強まる中、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、スプレッドは縮小したものの、前期末比で見るとスプレッドは拡大しました。

○為替市場

米ドル円は、米ドル高円安となりました。

2023年10月にかけては、米国の金融引き締め姿勢などを背景に米国金利が上昇する中、米ドル円は上昇基調で推移しました。その後期末にかけては、米国金利が低下するとともに、日本の金融政策修正観測が強まったことなどから、米ドル円は下落に転じたものの、前期末対比でみると、米ドル円は上昇しました。



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

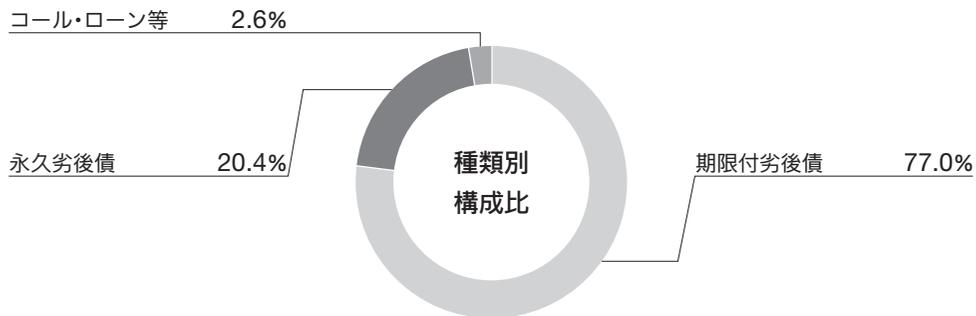
● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1. 比率は、第124期末における純資産に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
	2023.6.15 } 2023.7.14	2023.7.15 } 2023.8.14	2023.8.15 } 2023.9.14	2023.9.15 } 2023.10.16	2023.10.17 } 2023.11.14	2023.11.15 } 2023.12.14
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.365%	0.352%	0.351%	0.353%	0.349%	0.357%
当期の収益	21	40	40	28	40	26
当期の収益以外	18	—	—	11	—	13
翌期繰越分配対象額	2,856	3,024	3,058	3,048	3,113	3,101

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期毎にインカム収入^{*}を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

^{*} インカム収入とは、ハイブリッド証券の利子または配当収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジなしコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組み入れ銘柄の入れ替えも検討します。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第119期～第124期 2023.6.15～2023.12.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	52円	0.462%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,331円です。
（投信会社）	(25)	(0.220)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(25)	(0.220)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.018	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(1)	(0.009)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	54	0.480	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

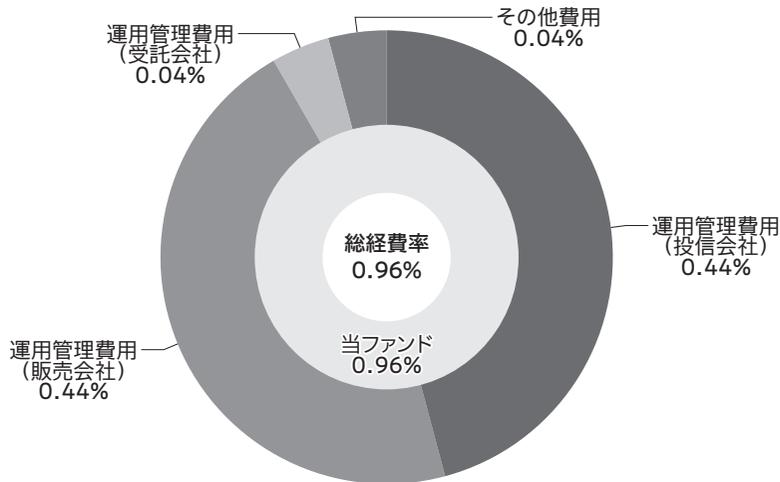
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月15日～2023年12月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第119期～第124期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	1,224,237	2,476,400	36,508	76,080

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月15日～2023年12月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年12月14日現在)

親投資信託残高

銘柄	第118期末	第124期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	533,514	1,721,243	3,517,188

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第124期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2023年12月14日現在)

項目	第124期末	
	評価額	比率
	千円	%
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	3,517,188	98.7
コール・ローン等、その他	46,472	1.3
投資信託財産総額	3,563,660	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、第124期末における外貨建資産(6,894,383千円)の投資信託財産総額(6,934,534千円)に対する比率は、99.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、第124期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=142.49円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末
	2023年7月14日現在	2023年8月14日現在	2023年9月14日現在	2023年10月16日現在	2023年11月14日現在	2023年12月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,671,164,195	2,414,285,542	3,450,659,271	3,629,610,126	3,681,713,341	3,563,660,368
コール・ローン等	23,766,911	40,095,450	49,278,698	47,042,885	92,288,996	46,471,683
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	1,647,397,284	2,374,190,092	3,401,380,573	3,582,567,241	3,589,424,345	3,517,188,685
(B) 負債	7,110,690	16,209,256	14,914,503	15,738,799	56,013,440	17,970,075
未払収益分配金	6,098,407	8,465,213	12,088,288	12,794,688	12,694,305	12,708,214
未払解約金	1	6,092,813	506,525	13	40,622,415	2,461,309
未払信託報酬	994,748	1,622,727	2,279,990	2,895,487	2,649,628	2,751,007
未払利息	70	—	—	—	—	133
その他未払費用	17,464	28,503	39,700	48,611	47,092	49,412
(C) 純資産総額(A-B)	1,664,053,505	2,398,076,286	3,435,744,768	3,613,871,327	3,625,699,901	3,545,690,293
元本	1,524,601,752	2,116,303,364	3,022,072,076	3,198,672,158	3,173,576,253	3,177,053,636
次期繰越損益金	139,451,753	281,772,922	413,672,692	415,199,169	452,123,648	368,636,657
(D) 受益権総口数	1,524,601,752口	2,116,303,364口	3,022,072,076口	3,198,672,158口	3,173,576,253口	3,177,053,636口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,915円	11,331円	11,369円	11,298円	11,425円	11,160円

(注1) 当作成期間（第119期～124期）における期首元本額960,751,194円、期中追加設定元本額2,318,329,443円、期中一部解約元本額102,027,001円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第119期1.0915円、第120期1.1331円、第121期1.1369円、第122期1.1298円、第123期1.1425円、第124期1.1160円

○損益の状況

項 目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
	2023年6月15日～ 2023年7月14日	2023年7月15日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月14日	2023年9月15日～ 2023年10月16日	2023年10月17日～ 2023年11月14日	2023年11月15日～ 2023年12月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 533	△ 345	△ 1,267	-	△ 1,195	△ 433
支払利息	△ 533	△ 345	△ 1,267	-	△ 1,195	△ 433
(B) 有価証券売買損益	△ 30,282,745	86,857,088	22,954,850	△ 7,504,861	55,454,003	△ 68,605,052
売買益	-	87,012,807	22,981,201	80,324	55,907,421	267,455
売買損	△ 30,282,745	△ 155,719	△ 26,351	△ 7,585,185	△ 453,418	△ 68,872,507
(C) 信託報酬等	△ 1,011,705	△ 1,650,788	△ 2,324,430	△ 2,946,094	△ 2,694,634	△ 2,798,997
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 31,294,983	85,205,955	20,629,153	△ 10,450,955	52,758,174	△ 71,404,482
(E) 前期繰越損益金	31,721,587	△ 5,644,800	70,966,363	79,222,071	55,447,594	94,916,855
(F) 追加信託差損益金	145,123,556	210,676,980	334,165,464	359,222,741	356,612,185	357,832,498
(配当等相当額)	(397,855,044)	(567,882,724)	(843,071,046)	(899,055,761)	(892,641,706)	(894,479,713)
(売買損益相当額)	(△252,731,488)	(△357,205,744)	(△508,905,582)	(△539,833,020)	(△536,029,521)	(△536,647,215)
(G) 計(D+E+F)	145,550,160	290,238,135	425,760,980	427,993,857	464,817,953	381,344,871
(H) 収益分配金	△ 6,098,407	△ 8,465,213	△ 12,088,288	△ 12,794,688	△ 12,694,305	△ 12,708,214
次期繰越損益金(G+H)	139,451,753	281,772,922	413,672,692	415,199,169	452,123,648	368,636,657
追加信託差損益金	145,123,556	210,676,980	334,165,464	359,222,741	356,612,185	357,832,498
(配当等相当額)	(398,772,890)	(568,965,049)	(844,682,488)	(899,395,568)	(892,664,835)	(894,530,415)
(売買損益相当額)	(△253,649,334)	(△358,288,069)	(△510,517,024)	(△540,172,827)	(△536,052,650)	(△536,697,917)
分配準備積立金	36,698,603	71,095,942	79,507,228	75,690,041	95,511,463	90,778,577
繰越損益金	△ 42,370,406	-	-	△ 19,713,613	-	△ 79,974,418

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2023年6月15日～2023年12月14日）は以下の通りです。

項 目	2023年6月15日～ 2023年7月14日	2023年7月15日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月14日	2023年9月15日～ 2023年10月16日	2023年10月17日～ 2023年11月14日	2023年11月15日～ 2023年12月14日
a. 配当等収益(費用控除後)	3,330,325円	7,054,530円	8,808,772円	9,262,658円	10,802,826円	8,569,936円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	35,897,132円	11,820,381円	0円	22,475,069円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	398,772,890円	568,965,049円	844,682,488円	899,395,568円	892,664,835円	894,530,415円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	39,466,685円	36,609,493円	70,966,363円	79,222,071円	74,927,873円	94,916,855円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	441,569,900円	648,526,204円	936,278,004円	987,880,297円	1,000,870,603円	998,017,206円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	2,896円	3,064円	3,098円	3,088円	3,153円	3,141円
g. 分配金	6,098,407円	8,465,213円	12,088,288円	12,794,688円	12,694,305円	12,708,214円
h. 分配金(1万円当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

○分配金のお知らせ

	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

<分配金をお支払いする場合>

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日 2023年12月14日）

<計算期間 2022年12月15日～2023年12月14日>

日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建てのハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 総 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
7期(2019年12月16日)	円		%		%	百万円
8期(2020年12月14日)	15,720		12.0	98.1		8,216
9期(2021年12月14日)	16,364		4.1	97.3		7,306
10期(2022年12月14日)	17,937		9.6	97.6		4,505
11期(2023年12月14日)	18,614		3.8	96.4		3,604
	20,434		9.8	97.4		6,934

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰 落	率		
	(期 首)		円		%		%
	2022年12月14日		18,614		—		96.4
	12月末		18,122		△ 2.6		94.7
	2023年1月末		18,458		△ 0.8		96.1
	2月末		18,971		1.9		98.0
	3月末		18,326		△ 1.5		96.8
	4月末		19,014		2.1		93.1
	5月末		19,778		6.3		96.6
	6月末		20,472		10.0		94.9
	7月末		19,925		7.0		95.5
	8月末		20,509		10.2		93.5
	9月末		20,630		10.8		96.4
	10月末		20,327		9.2		96.9
	11月末		20,832		11.9		97.8
	(期 末)						
	2023年12月14日		20,434		9.8		97.4

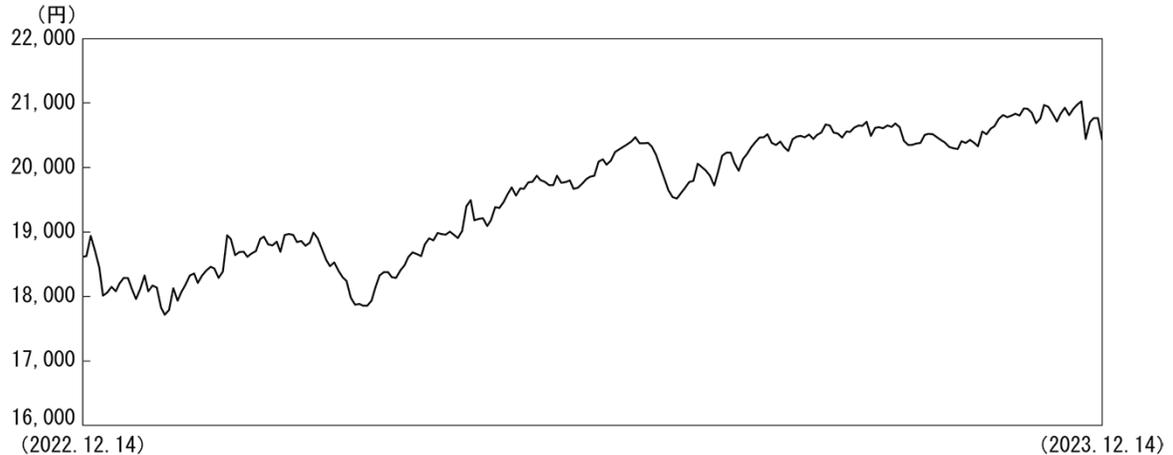
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2022年12月15日～2023年12月14日)

■基準価額の推移



期首：18,614円
 期末：20,434円
 騰落率：9.8%

■基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は+9.8%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、対国債スプレッドが縮小したものの、基準となる米国国債利回りは上昇（価格は下落）したことから、利回りは上昇しました。一方、インカム収入がこれを上回り、所有期間利回りはプラスとなりました。為替が米ドル高円安となったことも加わり、基準価額は上昇しました。

■投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

FRB（米連邦準備理事会）の金融引き締め姿勢を背景に、2023年10月にかけて利回りは上昇基調で推移しました。その後、11月のFOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて利上げ打ち止め観測が強まり、利回りは低下（価格は上昇）に転じましたが、前期末比で見ると、米国債券利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

ECB（欧州中央銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2023年10月にかけてドイツ債券利回りは上昇基調で推移しました。その後、期末にかけては、米国金利の低下や、ECBによる利上げ打ち止め観測などを背景に、利回りは低下しましたが、前期末比で見ると、ドイツ債券利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

BOE（イングランド銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2023年10月にかけて英国債券利回りは上昇基調で推移しました。その後、期末にかけては、米欧金利の低下や、英国景気への先行き懸念などから、利回りは低下しましたが、前期末比で見ると、英国債券利回りは上昇しました。

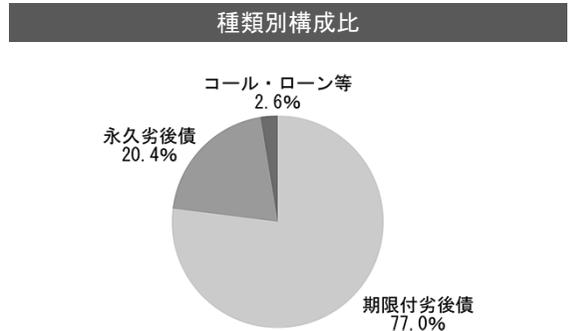
○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは、2023年2月にかけてはリスク選好の動きなどから縮小しました。3月に米地銀の経営破綻を契機に金融不安が広がったことから、スプレッドは急拡大したものの、当局の対応により収束しました。その後スプレッドは安定的に推移した結果、前期末比で見るとスプレッドは縮小しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



(注1) 比率は、第11期末における純資産に対する割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組み入れ銘柄の入れ替えも検討します。

○1万口当たりの費用明細

(2022年12月15日～2023年12月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.018	(a) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保 管 費 用)	(3)	(0.015)	
(そ の 他)	(0)	(0.002)	
合 計	3	0.018	
期中の平均基準価額は19,613円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2022年12月15日～2023年12月14日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券 (投資法人債券を含む)	千アメリカ・ドル 23,304	千アメリカ・ドル 1,801

(注1) 金額は受渡代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年12月15日～2023年12月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年12月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	55,100	47,395	6,753,365	97.4	—	79.9	8.6	8.9
合 計	55,100	47,395	6,753,365	97.4	—	79.9	8.6	8.9

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円			
普通社債券 (含む投資法人債券)	DAI-ICHI 4.0 260724	4.0	4,400	4,163	593,186	2026/7/24	
	DAI-ICHI 5.1 241028	5.1	1,900	1,878	267,648	2024/10/28	
	MEIJIYASUDA 5.2 251020	5.2	2,500	2,450	349,147	2025/10/20	
	MIZUHO FG 2.564 310913	2.564	9,600	7,678	1,094,151	2031/9/13	
	MSINS 4.95 290306	4.95	4,100	3,886	553,830	2029/3/6	
	NIPPON LIFE 2.75 310121	2.75	9,800	7,917	1,128,134	2031/1/21	
	NIPPON LIFE FRN 310916	2.9	5,800	4,684	667,429	2031/9/16	
	NIPPON LIFE FRN 330913	6.25	1,000	1,031	146,998	2033/9/13	
	SUMITOMO LI 3.375 310415	3.375	8,000	6,674	951,094	2031/4/15	
	SUMITOMO MI 2.142 300923	2.142	6,200	5,065	721,780	2030/9/23	
	SUMITOMO MI 6.184 430713	6.184	1,800	1,964	279,964	2043/7/13	
合 計					6,753,365		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 繰上償還条項が付与されている銘柄については、繰上償還予定日を償還日に記載しています。

*当ファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2023年12月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,753,365	% 97.4
コール・ローン等、その他	181,169	2.6
投資信託財産総額	6,934,534	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(6,894,383千円)の投資信託財産総額(6,934,534千円)に対する比率は、99.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=142.49円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,934,534,179
コール・ローン等	109,362,770
公社債(評価額)	6,753,365,749
未収利息	70,959,815
前払費用	845,845
(B) 負債	2,752
未払利息	115
その他未払費用	2,637
(C) 純資産総額(A-B)	6,934,531,427
元本	3,393,701,275
次期繰越損益金	3,540,830,152
(D) 受益権総口数	3,393,701,275口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,434円

(注1) 信託財産に係る期首元本額1,936,313,464円、期中追加設定元本額2,018,841,454円、期中一部解約元本額561,453,643円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジありコース	1,144,674,376円
日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジなしコース	1,721,243,362円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジありコース	323,845,521円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジなしコース	203,938,016円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 2.0434円

○損益の状況 (2022年12月15日～2023年12月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	201,482,706
受取利息	201,517,953
その他収益金	16,299
支払利息	△ 51,546
(B) 有価証券売買損益	251,123,354
売買益	295,532,128
売買損	△ 44,408,774
(C) 保管費用等	△ 896,252
(D) 当期損益金(A+B+C)	451,709,808
(E) 前期繰越損益金	1,667,978,155
(F) 追加信託差損益金	1,969,488,546
(G) 解約差損益金	△ 548,346,357
(H) 計(D+E+F+G)	3,540,830,152
次期繰越損益金(H)	3,540,830,152

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額をいいます。

○お知らせ

- ・実態に即した記載とするとともに、新NISA制度の成長投資枠の対象商品に係る法令上の要件を満たすため、投資信託約款に所要の変更(デリバティブ取引等の利用を価格等の変動リスクのヘッジと現物投資の代替に限定)を致しました(2023年9月29日)。